木更津市オーガニックシティ
フェスティバル 2018
結果報告書

ORGANIC CITY
KISARAZU
未来につながるまち

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会

目　　次

第１　開催概要 1
１.「木更津市オーガニックシティフェスティバル 2018」開催概要 1
第２　実施結果 7
１. 全体事項 7
２. 実施結果 7
開会式 7
平成 30 年度第２回オーガニックアクション宣言企業認定証交付式 8
第３回「きれいな海のまち木更津コンテスト」表彰式 9
オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー01　オーガニックな暮らしと健康～食事や交流と認知症との関係～ 10
オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー02　日本初のオーガニック検査員が提案する「家族と食べたい食品選び」 11
オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー03　オーガニック・ナチュラルコスメビューティーセミナー「オーガニックコスメで綺麗になる秘訣！」 12
オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー04　「和ハーブ」きさらづのたからもの 13
児童家庭支援センターファミリーセンターヴィオラの活動紹介 14
持続可能な開発目標 SDGs に関する展示 14
木更津市国際交流協会の広報誌の展示、会員募集 15
日東バスのお得な乗り方紹介 15
健康応援コーナー（お口の健康チェック・知っていますか？おやつの適量・早寝早起き朝ごはん啓発） 16
みんなでつくろう！とびだすカード 17
薬剤師が教える！科学実験スライムづくり 17
木更津市赤十字奉仕団の事業活動～災害時に役立つグッズづくり～ 18
木更津高校 SSH 活動「笑顔をつなげよう」 18
「しぇあマルシェ」～親子で作ろう！成長感じるフォトフレーム～、～みんなで作ろう！ハーバリウム～、～オープンカフェ～ 19
「オーガニックシティカフェ」～認知症カフェフェスティバル～、～木更津の公民館を知ろう！カフェ＆体験コーナー～ 21
千葉大学デザインサーベイ 2018in 木更津　成果報告 23
博物館のあゆみ-10th Anniversary- 24
キャラクターグリーティング 24
株式会社写楽館～家族でピース～ 25

落書きウォーク 25
児童・生徒による税に関する作品展..... 26
Oyen Market Kisarazu・ラボ縁日・ショートムービー上映会「街を食べる」..... 27
第３回「きれいな海のまち木更津コンテスト」作品展示会..... 28
「100%木更津産電力で提供！」メインステージ音響・プロジェクター電源の提供、ソーラーパネル展示＆充電コーナー..... 29
農業ヒーローズ３～人と農と地域をつむぐ～..... 30
水稲除草ロボットの展示、オーガニック農業パネル及び無農薬米給食展示..... 30
千葉県産の杉間伐材を利用した木工ワークショップ..... 31
鎌足桜の魅力 32
自然塗料を使って、ヒトと環境にやさしいアートショップ..... 32
木更津高専の紹介～環境に配慮した研究取組の事例紹介～..... 33
竹とふれあう体験教室..... 33
盤洲干潟の自然環境保全活動展..... 35
環境省「うちエコ診断」..... 35
都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト..... 36
30･10 運動の啓発 36
食・雑貨販売エリア..... 37
ボッチャ企業対抗戦＆体験..... 39
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会体験コーナー..... 40
木更津の魅力発信ブース..... 40
自然×利便性のまち 木更津で暮らそうプロジェクト～空き家バンク・リフォーム助成～ 41
都心に一番近い田舎 木更津で暮らそうプロジェクト..... 41
木更津市議会の議場見学..... 42
第３　広報・配布物関係..... 43
第４　決算書 44

第１　開催概要

１.「木更津市オーガニックシティフェスティバル 2018」開催概要

（1）　名　称

木更津市オーガニックシティフェスティバル 2018

（2）　趣　旨

平成 28 年 12 月に通称「オーガニックなまちづくり条例」を施行し、本格的にスタートしたまちづくり。人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承していくことをめざす「オーガニックなまちづくり」について、見聞き、体験し、理解を深めていただくためのイベントです。

■「オーガニック」は、持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方です。
■「オーガニックなまちづくり」は、オーガニックをまちづくりの視点として、地域社会を構成する多様な主体が一体となり、人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承しようとする取組です。

（3）　日　時

2018 年 11 月 25 日（日）9:30～16:00

（4）　会　場

スパークルシティ木更津　本館４階、６階、７階
（千葉県木更津市富士見 1-2-1 木更津駅みなと口駅前）

（5）　主　催

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会

（6）　後　援

千葉県

（7） 協　賛

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 千葉南支店、株式会社アクアエステート木更津、株式会社イーエスケイ、株式会社イベント・コミュニケーションズ、株式会社エコス、株式会社エンゼル薬局、株式会社かずさアカデミアパーク、関東自動車工業株式会社、君津信用組合、興和建設株式会社、株式会社ジェイコム千葉 木更津局、株式会社写楽館、株式会社新昭和、新日鐵住金株式会社 君津製鐵所、スパークルシティ木更津、スマートソーラー株式会社、ソニーグローバルマニュファクチャリング＆オペレーションズ株式会社 木更津サイト、塗装店 優建装、日東交通株式会社、ハナダ電機技術工業、医療法人社団邦清会、株式会社リオ、ログ工房 とっとの森株式会社、ワタナベメディアプロダクツ株式会社（企業名等五十音順・全 24 企業）

（8） プログラム

① ステージイベント

9:50～10:30 ■平成 30 年度第２回オーガニックアクション宣言企業認定証交付式
10:35～11:20 ■第３回「きれいな海のまち木更津コンテスト」表彰式
11:30～12:15 ■オーガニックシティセミナー第４弾　健康編　セミナー01 「オーガニックな暮らしと健康～食事や交流と認知症との関係～」 講師：大日方　研 氏
12:30～13:30 ■オーガニックシティセミナー第４弾　健康編　セミナー02 日本初のオーガニック検査員が提案する「家族と食べたい食品選び」 講師：水野　葉子 氏
13:45～14:30 ■オーガニックシティセミナー第４弾　健康編　セミナー03 オーガニック・ナチュラルコスメビューティーセミナー「オーガニックコスメで綺麗になる秘訣！」 講師：小松　和子 氏
14:45～15:45 ■オーガニックシティセミナー第４弾　健康編　セミナー04 「和ハーブ」きさらづのたからもの 講師：古谷　暢基 氏

②　ブースイベント（ワークショップ・展示等）

「木更津を生かそう」をテーマに、２つのゾーンに分け、「オーガニックなまちづくり」を楽しみながら学べる展示・ワークショップ等のブース型イベントを展開！

社会を生かそうゾーン

・児童家庭支援センターファミリーセンターヴィオラの活動紹介
・持続可能な開発目標 SDGs に関する展示（国際協力機構 JICA）
・木更津市国際交流協会の広報誌の展示、会員募集
・日東バスのお得な乗り方紹介（日東交通株式会社）
・健康応援コーナー
・みんなでつくろう！とびだすカード（特定非営利活動法人木更 CoN）
・薬剤師が教える！実験で学ぶスライムづくり（株式会社エンゼル薬局）
・木更津市赤十字奉仕団の事業活動
・木更津高校 SSH 活動「笑顔をつなげよう」
・「しぇあマルシェ」～親子で作ろう！成長感じるフォトフレーム～、～みんなで作ろう！ハーバリウム～、～オープンカフェ～
・「オーガニックシティカフェ」～認知症カフェフェスティバル～、～木更津の公民館を知ろう！カフェ＆体験コーナー～
・千葉大学デザインサーベイ 2018in 木更津　成果報告
・博物館のあゆみ-10th Anniversary-
・キャラクターグリーティング
・株式会社写楽館～家族でピース～
・落書きウォーク
・児童・生徒による税に関する作品展
・Oyen Market Kisarazu
・ラボ縁日
・ショートムービー上映会「街を食べる」

自然を生かそうゾーン

・第３回「きれいな海のまち木更津コンテスト」作品展示会（株式会社ジェイコム千葉 木更津局）
・「100%木更津産電力で提供！」ソーラーパネル展示＆充電コーナー（ハナダ電機技術工業）
・農業ヒーローズ３～人と農と地域をつむぐ～
・水稲除草ロボットの展示、オーガニック農業パネル及び無農薬米給食展示（きさらづアグリフーズ推進協議会）

・千葉県産の杉間伐材を利用した木工ワークショップ（かずさ地区木材組合）
・鎌足桜の魅力
・自然塗料を使って、ヒトと環境にやさしいアートショップ（塗装店 優建装）
・木更津高専の紹介～環境に配慮した研究取組の事例紹介～
・竹とふれあう体験教室
・盤洲干潟の自然環境保全活動展
・環境省「うちエコ診断」
・都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
・30･10 運動の啓発

③　食・雑貨販売エリア

オーガニック＆ナチュラルや地産食材など 18 店舗が出店！

・Smile of Africa（MY DEAR 株式会社）
・kurkku fields（耕す木更津農場）
・JBK Farm
・木更津市観光ブルーベリー園協議会
・Olivier odorant（オリヴィエオドラン）
・特定非営利活動法人たぬき工房
・有限会社竹内商店
・木更津逸品研究会
・機能性食材研究会
・地元女子高生プロデュース・地元食材を使ったワンコインランチ（木更津東高等学校・四季味宴席「たく」）
・かずさファーマーズマーケット（ピッツェリアスクデット・手作りジャム工房～ippo～・山田庵・morimoe、ひととわ、BeeConcierge・ベアーズ・合同会社房山業）

④　オリンピック・パラリンピックエリア

・ボッチャ企業対抗戦＆体験（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）
・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会体験コーナー

⑤　木更津市 PR エリア

・木更津の魅力発信ブース
・自然×利便性のまち 木更津で暮らそうプロジェクト～空き家バンク・リフォーム助成～
・都心に一番近い田舎 木更津で暮らそうプロジェクト
・木更津市議会の議場見学

（９）　**入場料**

無料

(10)　**広　報**

イベントポスター・チラシ、新聞折込、ジェイコムマガジンへの折込、市（広報紙、WEB サイト、フェイスブック）など

(11)　**事務局（お問合せ先）**

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会事務局
千葉県木更津市富士見 1-2-1　市役所駅前庁舎
企画課オーガニックシティ推進室内　TEL:0438-23-8049　FAX:0438-23-9338
E-mail:info@k-organiccity.org
URL:https://www.k-organiccity.org/

(12)　**推進協議会参画団体**

区分	団体等名
市	木更津市
産業団体・企業	木更津商工会議所
	木更津市農業協同組合
	イオンモール株式会社　イオンモール木更津
	株式会社かずさアカデミアパーク
	株式会社新昭和
	新日鐵住金株式会社　君津製鐵所
	ソニーグローバルマニュファクチャリング＆オペレーションズ株式会社　木更津サイト
	株式会社耕す
教育機関	独立行政法人国立高等専門学校機構　木更津工業高等専門学校
メディア	株式会社ジェイコム千葉　木更津局
	特定非営利活動法人　木更ＣｏＮ
各種団体	一般社団法人かずさ青年会議所
	きさらづアグリフーズ推進協議会

	木更津市観光協会
	木更津市国際交流協会
	木更津市商店会連合会
	広域交流市民の会

※会　　長：木更津商工会議所会頭　鈴木　克己
　名誉会長：木更津市長　渡辺　芳邦
　副 会 長：木更津市観光協会会長　野口　義信
　監　　事：木更津市副市長　田中　幸子
　監　　事：株式会社かずさアカデミアパーク代表取締役　林　孝二郎

第２　実施結果

１．全体事項

・来場者数

約 2,000 人

２．実施結果

開会式

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会
会長（木更津商工会議所会頭）鈴木　克己

木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会
名誉会長（木更津市長）渡辺　芳邦

平成 30 年度第２回オーガニックアクション宣言企業認定証交付式

オーガニックアクション宣言企業登録制度は、木更津市を人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承しようとする取組である「オーガニックなまちづくり」を実践している企業を「オーガニックアクション宣言企業」として認定するものです。

今回は、①地域貢献活動に関する取り組み、②産業支援活動に関する取り組み、③自然環境保全活動に関する取り組み、④労働環境改善に関する取り組みの４つのオーガニックアクションを実践している 18 の企業の取組紹介と木更津市オーガニックシティプロジェクト推進協議会鈴木克己会長より認定証の交付を行いました。

【認定企業】

・三幸株式会社 南総営業所
・君津信用組合
・株式会社アクアエステート木更津
・株式会社ＧＦＳ
・アイデザインファクトリー株式会社
・ハナダ電機技術工業
・有限会社ベアーズ
・スマートソーラー株式会社
・有限会社木更津油脂
・株式会社 KURKKU
・農地所有適格法人 株式会社耕す
・ピッツェリアスクデット
・日東交通株式会社
・有限会社スパークル
・有限会社タク
・社会福祉法人かずさ萬燈会
・糸の里山
・かずさエフエム株式会社

第３回「きれいな海のまち木更津コンテスト」表彰式

株式会社ジェイコム千葉 木更津局では、地域貢献活動の一環として、「ゴミのポイ捨て抑止」をテーマとしたポスターを木更津市内小中学校から募集する「第３回きれいな海のまち木更津コンテスト」を実施しました。

これまで、木更津市内の公園は地元の有志によって毎週清掃活動が行われてきましたが、海岸近くの公園は清掃をしてもゴミのポイ捨てが減らない状況にありました。

そこで、マナー向上を啓発する活動の一環として、同コンテストを 2016 年から J:COM 木更津が主催し、地元有志企業らの協賛で開催しています。

第３回目となる今回は木更津市内小中学校から 222 作品の応募があり、今年は J:COM のホームページに応募作品をすべて掲載し、お気に入りの作品へ投票いただけるサイトを公開しました。一般の方から投票いただき、投票の上位作品は優秀作品として選定しています。

＜各賞受賞者一覧＞

受賞名	氏名	学校
木更津市長賞	永嶌 青透さん	木更津市立畑沢小学校
木更津市教育長賞	杉山 愛実さん	木更津市立清見台小学校
木更津商工会議所会頭賞	石井 悠さん	木更津市立木更津第二小学校
木更津市観光協会長賞	渡邊 海璃さん	木更津市立波岡小学校
木更津海上保安署長賞	石井 黎さん	木更津市立木更津第二小学校
入選	佐々木 柚季さん	木更津市立波岡小学校
入選	杉山 恵梨さん	木更津市立清見台小学校
入選	高橋 晴帆さん	木更津市立波岡小学校
入選	齋藤 貴勝さん	木更津市立清見台小学校
入選	高橋 陽向さん	木更津市立八幡台小学校
特別賞	福原 千里さん	木更津市立清川中学校

メインステージ上では、本コンテストに後援いただいた木更津市、木更津市教育委員会、木更津商工会議所、一般社団法人木更津市観光協会、木更津海上保安署の各代表者出席のもと、優秀作品の表彰式を行いました。

表彰された優秀作品は、2019 年３月中旬頃に高さ 27m と日本一の高さを誇る歩道橋「中の島大橋」がある観光スポット「鳥居崎海浜公園」に看板として設置を予定しています。

オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー01　オーガニックな暮らしと健康～食事や交流と認知症との関係～

講　　師：大日方　研 氏

講師紹介

オビナタクリニック院長、君津木更津医師会監事、木更津市在宅医療・介護連携推進協議会（在宅介護・認知症施策部会長）など。木更津市富士見においてオビナタクリニックの院長を務める傍ら、認知症サポート医として、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターや介護事業所からの相談や、認知症カフェ等においても講演を行われるなど、認知症の方やそのご家族、介護事業者などへ尽力。

参加者数：約 80 人

高齢者の食事と交流

・食事の多様性が少ない人は生活機能の低下率が高い（多種少量を守る）
・「アルブミン」が低くならないように、魚な肉などのたんぱく質を摂ること
・おいしく食べられることが重要で「おいしい」と口に出すこと
・自分の好物を大切にし、５味５色の食事をとること（色で食べる）
・高齢者の栄養についてはかかりつけ医、管理栄養士に相談し、よくコミュニケーションをとること
・人が集まる場所に足を運ぶこと
・閉じこもりがちの人をみんなで引き出して元気になること

認知症

・認知症は生活習慣病のひとつに入る
・認知症の方と一緒に生活する環境を作らなければいけない、まわりの人の考え方も変わっていかなければいけない
・健康や生活習慣の管理、体を動かし地域社会との繋がりを大切にすることで認知症予防に繋がる

自分も幸せになれる認知症ケア（幸せホルモン：オキシトシン）

・人に対して何かしてあげた方も、された方も元気になる（人の手によるマッサージ：タッチケア）

オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー02　日本

初のオーガニック検査員が提案する「家族と食べたい食品選び」

講　　師：水野　葉子 氏

講師紹介

食品認証会社 有限会社リーファース代表取締役社長、千葉大学非常勤講師、一般社団法人日本オーガニック検査員協会監事、Food for life 協会代表など。 　日本初のオーガニック検査員として、日本各地 3,000 件を超える食品検査の中で見聞きしてきた情報をもとに、メッセンジャーとして消費者に健康や環境面も含めた上での食選びについて提案する。著書や TV・新聞等のメディア出演多数。

参加者数：約 40 人

食べ物選びのポイント

これが自分の体の一部となっていい？これを本当に食べたい？家族に食べさせたい？そのためには食品の基礎を知ること！

知っていますか？

・食品の原材料は多い順に表記
・肉牛の飼育期間は 20～30 ヶ月程度、豚の飼育期間は６ヶ月程度ということ
・有機＝オーガニックということ
・「無農薬」と表記してはいけないこと

私が選びたいもの

・食品添加物が少ないもの
・遺伝子組み換え原料ができるだけ使われていないもの
・「もどき」や「**風」ではなく「ホンモノ」
・身土不二の考えにのっとったもの

私が食べたいもの

・歯のバランスに合った食べもの（穀物 20：野菜８：肉４）
・生産者の顔が見えるもの・わかるもの
・地球にやさしく作られたもの（有機／オーガニック、特別栽培、エコ）
・国産のもの

オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー03　オーガニック・ナチュラルコスメビューティーセミナー「オーガニックコスメで綺麗になる秘訣！」

講　　師：小松　和子 氏

講師紹介

オーガニック・ナチュラルコスメプロデューサーなど。雑誌、TV など数々の分野でフリーのヘアメイクアップアーティストとして活躍する中、自身の化学物質過敏症をきっかけに肌と化粧品に関する知識を独学で学び、2008 年からナチュラルコスメ専門のヘアメイクアップアーティストとして転身。現在はオーガニック・ナチュラルコスメプロデューサーとしても活躍中。

参加者数：約 45 人

世の中の化粧品は７つに分けられる

１．大手化粧品メーカー・・・最先端、オシャレ、高価、ほとんどが合成化学成分
２．ドクターズ・皮膚科系・・・皮膚科系、多くの成分が化学物質、低刺激性
３．ドクターズ・美容整形系、エステ系・美容家系・・・しみ、しわ予防、多くの成分が化学物質
４．プチプラ・韓国コスメ・バラエティー・・・若い世代、発色良い、発がん性
５．無添加自然派コスメ・・・多くが合成成分、一部ナチュラル成分
６．ナチュラルコスメ・・・認証マークはないが製造過程がクリアでナチュラル成分
７．オーガニックコスメ・・・認証マーク付き、海外ブランドが多い

オーガニックを選択する理由

オーガニック・ナチュラルコスメは、ヒトと環境に配慮しているコスメ、私たちの肌には余計なものを取り込むリスクがある。

オーガニック・ナチュラルコスメで約束していること

・生分解しないものは使わない（マイクロチップなど）
・ナノ成分・ナノ技術は使わない（肌の奥まで簡単に浸透する浸透成分はＮＧ）
・環境ホルモンの影響成分は使用しない（ジェルネイル、口紅、ファンデーション、日焼け止めなど）

オーガニックシティセミナー第４弾 健康編　セミナー04 「和ハーブ」きさらづのたからもの

講　　師：古谷　暢基 氏

講師紹介

医学博士、国際補完予防医療大学日本校学長、日本ダイエット健康協会理事長、（一社）和ハーブ協会代表理事など。予防医学／補完医療のあらゆる分野の専門家であり、食・運動・ダイエット・美容・施術・薬用植物・伝統医療などに精通する。そのオールマイティなスキルから、講師や監修者、また関連団体や検定・資格、店舗などのプロデュース、メディカルディレクターなどを行う。著書・監修の書籍やテレビ・雑誌等のメディア出演多数。

参加者数：約 45 人

和ハーブとは？

“にほんのわすれもの”日本人の生活文化、健康を支えてきた、生き方の歴史。

和ハーブの定義

「ハーブ」とはラテン語の“草”Herba が語源。狭義では「香りや薬効が高い」。広義では「有用植物」。

「和ハーブ」とは日本古来の有用植物。

①日本の野生原種及びそれを由来とした栽培種

②江戸時代以前より広く使われている外来種

日本人の命を支えてきたものは何か？

人は食べた物からできており、その主成分は植物。

身土不二：人が生まれ育った風土とその心身は二つと分けられない。

三里四方に医者いらず：住んでいる所から三里（12Km）四方のものを食べるべき。

児童家庭支援センターファミリーセンターヴィオラの活動紹介

児童家庭支援センターファミリーセンターヴィオラの活動紹介やパンフレットの展示、各種相談などを行った。

（１）担　当：児童家庭支援センターファミリーセンターヴィオラ

（２）従事者数：３人

（３）来場者数：集計せず

持続可能な開発目標 SDGs に関する展示

持続可能な開発目標 SDGs や国際協力についての展示や紹介を行った。

アフリカの医療環境やその問題点、世界の料理や食事風景に関するパネル展示を行った。

（１）国際協力機構 JICA　千葉デスク

（２）従事者数：５人

（３）来場者数：集計せず

木更津市国際交流協会の広報誌の展示、会員募集

木更津市国際交流協会会員募集及び New Year Party の周知を行った。
KIFA（木更津市国際交流協会）への入会者１名、New Year Party のチケット購入者２名。

（１）担　当：木更津市国際交流協会

（２）従事者数：木更津市国際交流協会　１人

（３）来場者数：約 30 人

日東バスのお得な乗り方紹介

バスの乗り方教室とバスと街の歴史ある写真の展示等を行った。
多くのお客様がブースに立ち寄り、展示写真のご案内をすることができた。

（１）担　当：日東交通株式会社

（２）従事者数：５人

（３）来場者数：約 25 人

健康応援コーナー（お口の健康チェック・知っていますか？おやつの適量・早寝早起き朝ごはん啓発）

【お口の健康チェック】
・唾液によるむし歯菌数のチェック
・は・ハ・歯クイズ
　クイズは、年齢問わず楽しんで参加してもらえた。

【おやつや清涼飲料水の脂質・糖分量の掲示・展示】
・購入した脂質やおやつのフードモデル、フードモデル飲料・菓子
・おやつの摂取目安量の掲示

【糖度測定】
・日頃からよく飲んでいる清涼飲料水の糖度測定。糖度から算出した１本分の糖分量を３ｇのペットシュガーで重量測定し、糖分量を視覚で確認。
　糖度測定者からは、いずれも含まれる砂糖の量の多さに驚きや、更に恐怖さえ感じている様子が伺え、また、フードモデル等の展示物を興味深く見ていたことから、啓発につながったと思われる。

【早寝早起き朝ごはん啓発】
・日頃の起床時間、就寝時間を振り返ってもらい、絵本と資料の配布、パネルにより早寝早起き朝ごはんについて啓発。
　子どもだけではなく大人にも睡眠について振り返ってもらい、世代問わず啓発ができた。

（１）担　当：健康推進課

（２）従事者数：市職員８人（歯科衛生士２人、栄養士３人、保健師３人）
　　臨時職員３人（歯科衛生士）

（３）来場者数：むし歯菌テスト　172 人　　歯のクイズ　165 人
　　糖度測定　28 人　　アンケート回答　45 人
　　起床就寝時刻シール　127 人　絵本配布　88 人

みんなでつくろう！とびだすカード

きさポンやクリスマスツリーのとびだすカードづくりを行った。

10 時開催から多くの子どもたちが順番待ちでカードづくりに参加し、大盛況の１日でした。また、とびだす絵本やゲームで楽しむ子どもたちもいてみんなの笑顔がみれました。後半は、年配のお客様も多く、楽しんで作っていました。当初、先着 100 名で材料をそろえていたのですが、午前中より材料が足らなくなり、補充を何度かしました。お客様の人数も昨年よりだいぶ多かったと思います。

（１）担　当：特定非営利活動法人木更 CoN

（２）従事者数：12 人

（３）来場者数：約 200 人

薬剤師が教える！科学実験スライムづくり

ホウ砂入り水溶液と PVA を用いたスライム作りを実施いたしました。

それぞれが持つ化学構造式や反応式を踏まえ説明すると、大人も子供も熱心に話を聞いて頂けました。

（１）担　当：株式会社エンゼル薬局

（２）従事者数：薬剤師 2 人
　　ボランティア：3 人

（３）来場者数：約 80 人

木更津市赤十字奉仕団の事業活動～災害時に役立つグッズづくり～

風呂敷で作るリュック、新聞で作るスリッパ、ゴミ袋で作る雨カッパの体験を行った。
昨年も体験したが再度体験することで、忘れてしまった事が思い出されよかったと思う。

（１）担　当：社会福祉課

（２）従事者数：木更津市赤十字奉仕団７人
市職員１人
臨時職員１人

（３）来場者数：約 70 人

木更津高校 SSH 活動「笑顔をつなげよう」

持続可能な社会・木更津についての提言、共生社会について考える（高校２年生全員に「自分らしさを発揮できていますか」アンケート調査のまとめ）、ひまわりプロジェクト（校内・校外の取り組み）、自然エネルギーについて（太陽光発電・水力発電・風力発電の実験、バイオマスの技術について）

（１）担　当：千葉県立木更津高等学校

（２）従事者数：生徒 12 人
職員４人

（３）来場者数：約 100 人

「しぇあマルシェ」～親子で作ろう！成長感じるフォトフレーム～、～みんなで作ろう！ハーバリウム～、～オープンカフェ～

【しぇあマルシェ】

成長感じるフォトフレーム作り、ファミリーサポートセンター紹介及び会員登録、虐待防止ファイル・蛍光ペン配布を行った。

・成長感じるフォトフレーム作り参加者　９３名

・ファミリーサポート会員登録者　４名

（１）担　当：子育て支援課

（２）従事者数：５人

（３）来場者数：約 200 人

【みんなで作ろうハーバリウム！】

ワークショップは、参加することでいろんな交流が生まれて欲しいという気持ちで行いました。当日は、就労移行支援施設の利用者と職員２名がボランティアで参加しました。遊びに来ていた小さい子どもや高校生、障害者支援施設入居者や高齢者施設利用者や職員さんたちも参加されている様子がありました。ボランティアさんや参加者、参加者同士の交流も図れており、目標は達成できたと思います。

【ART BURUT　障がい者による作品展示】

今回は、７つの障害者総合支援法上の事業所が参加をしました。作品展示では、見に来てくださった方たちが興味を持ってくれる内容で、「これは普段どこで売っているのか。」「どんな人がこれを作ったのか。」との問い合わせが多かったです。作品を作ってくれた障がいのある方も、家族と見に来て一緒に写真をとっている様子もあり、とても良い機会を作ることができたと感じます。

【障がい者就労支援施設による商品の販売】

今回は、hanahaco による無料のオープンカフェとオリーブファームかずさによるおせんべい等の販売、Ｍ工房木更津によるアメリカンフラワーの販売を実施しました。販売した事業所からは、場所がエレベーターを降りてすぐであったこともあり、興味を持って立ち止まってくれる方が多かったと聞いています。カフェでは、隣の高齢者と公民館のカフェに入りにくい方が休憩のスペースとして利用していた様子がありました。

全体として、しぇあマルシェの位置が人通りの良い場所でしたので、障がい福祉関係施設の展示作品を多くの方に見てもらえたと思います。普段あまり、人の目に触れない作品が紹介できたことや、作品を提供してくれた引きこもりの方もオーガニックシティフェスティバルに遊びに来るきっかけになりましたので、とても良い結果だったと思います。

（１）担　当：障がい福祉課

（２）従事者数：（販売員）hanahaco　２人
オリーブファームかずさ　３人
Ｍ工房木更津　２人
（ボランティア）ひゅーまにあ上総　２人
市職員　５人

（３）来場者数：ワークショップ参加人数　71 組
しぇあマルシェ来場者数　約 80 人

「オーガニックシティカフェ」～認知症カフェフェスティバル～、

～木更津の公民館を知ろう！カフェ＆体験コーナー～

【～認知症カフェフェスティバル～】

「認知症」及び「認知症カフェ」について広く知っていただくために、普段の認知症カフェの様子を再現し、コーヒーやお菓子を提供し自由に交流していただきました。ブース内で、公民館のコミュニティカフェとコラボをしたことで、幅広い年齢層の方々にお越しいただき、また、「ハープ演奏・ふまねっと体験・カードゲーム」などのイベントも多勢の集客がありました。ハープ演奏では、参加された方々も身振り手振りをつけながら、一緒に楽しく歌を歌うことができました。

（１）担　当：高齢者福祉課

（２）従事者数：地域包括支援センター職員　８人
講師　２人
市職員　３人

（３）来場者数：約 500 人

【～木更津の公民館を知ろう！カフェ＆体験コーナー～】

まちづくり・防災・青少年健全育成・多世代交流などの地域の課題に取り組み、次世代につながる地域づくりの拠点となっている公民館活動を展示やリーフレットで紹介するとともに、公民館活動の体験（ふまねっと体操、コミュニティカフェ）を実施した。

コミュニティカフェコーナーでは、地域で活躍しているボランティアに参加してもらい、来場者との交流を行った。

また、今回は高齢者福祉課の認知症カフェと共同出展し、飲み物とお菓子を媒介にして、さまざまなカフェ開催のおしらせができ、有意義なひとときを持つことが出来た。

来年度オーガニックシティフェスティバルが開催されるようであるならば、来年度も高齢者福祉課との共同出展を検討したいと考えているところである。

（１）担　当：中央公民館

（２）従事者数：上総ふまねっとの会　３人
ボランティア　16 人
ブラジル屋　１人
市職員　５人

（３）来場者数：約 480 人

千葉大学デザインサーベイ 2018in 木更津　成果報告

千葉大学では地方創生プログラムであるCOC+事業の一環として木更津市観光協会様から「木更津版ＤＭＯの形成に向けた学生による地域資源を活用したオーガニックツーリズム（着地型観光ツアー）の研究･提案事業」の研究委託を受け、9/24~29に木更津市内において千葉大学工学部デザイン学科の学部生・大学院生による「デザインサーベイ2018」を実施しました。

これは学生が市内の様々な地域を訪問して地元住民からお話を聞き、そこにある生活文化を直接的・体感的に学ぶプログラムで、最終的には木更津に眠る観光資源を掘り起こし、それらを組み合わせた「観光創造・観光提案」を行うことを目指すものです。

学生たちはそれぞれのテーマに分かれて前半の昼間はヒアリング中心のインプット作業、そして夜間と後半2日間はそれらをまとめて提案資料作成というアウトプット作業を行い、中間報告会には昨年に続き木更津市長から学生たちにアドバイスも頂き、最終日にはこれらの成果を発表する市民向けの成果報告会も開催しました。

活動を通じて、地域の方々には自転車でご案内いただいたり、太巻き寿司づくり・しめ縄づくりなどを体験させていただいたり、その他貴重なお話を聞かせていただくなど温かく迎え入れて頂きました。

今回はこれらの成果報告をパネル等にまとめて展示・説明をしたもので、木更津市長を始め、サーベイ時に協力いただいた関係者の方など多くの市民の方に足を運んでいただき、その成果をお披露目することができました。

今後はこの成果についてさらなるブラッシュアップを図り、将来的には観光協会などでツアー商品化していただけるようなレベルまで仕上げてご提案できればと考えております。

（１）担　当：千葉大学

（２）従事者数：６人

（３）来場者数：約100人

博物館のあゆみ-10th Anniversary-

博物館の活動内容を映像にて紹介し、特別展のチラシ等の配布を行った。関係団体の育成及び特別展開催を周知することができた。

（１）担　当：郷土博物館金のすず

（２）従事者数：博物館友の会　10 人
　　市職員　３人

（３）来場者数：約 420 人

キャラクターグリーティング

来場者の方にお楽しみいただくため、木更津にゆかりのあるキャラを集合させるイベントを行った。

（１）担　当：オーガニックシティプロジェクト検討会議

（２）開催時間：グリーティング　９時 30 分～15 時 00 分

（３）参加キャラ：全５体（協力団体　２団体）

No.	キャラ名	協力団体名
1	ＺＡＱ	株式会社ジェイコム千葉
2	キサラピアパークキャラクター（１体）	泉陽興業株式会社
3	チーバくん	千葉県
4	きさポン	木更津市
5	のこったくん	木更津市

株式会社写楽館～家族でピース～

家族写真を撮影し六切り写真オーガニックシティロゴ入り額付きをプレゼントする。

（１）担　当：株式会社写楽館

（２）従事者数：４人

（３）来場者数：約 30 人

落書きウォーク

会場内の周遊を目的として、６階イベント会場内にクイズの答えとなる文字を１文字ずつ展示して全ての文字を見つけて順番どおりに並べるとひとつの言葉が完成するクイズ形式のイベントを行った。参加者には参加賞、さらにクイズ正解者にはくじ引き抽選で賞品を用意した。

【景品内容】

特　賞	オークラアカデミアパークホテルディナー券（１万円分） 株式会社リオＯＣＦオリジナル詰め合わせセット	１個 15 個
１　等	オークラアカデミアパークホテルランチ券（５千円分）	２個
２　等	木更津ナチュラルバルチケット	５個
３　等	チバリバリ	４個
４　等	海苔の佃煮	４個
５　等	ブルーベリージャム	４個
参加賞	きさポンブルーベリーゼリー（株式会社エンゼル薬局提供）	200 個
	ＺＡＱグッズ（株式会社ジェイコム千葉提供）	200 個

（１）担　当：オーガニックシティプロジェクト検討会議

（２）従事者数：３人

（３）参加者数：110 人

児童・生徒による税に関する作品展

租税教育の内容の紹介及び住民の社会参加をアピールするため、納税の意識付けを目的に小中高校生から応募があった「税の作文」、「税の標語」の入賞作品を展示し、作品集（冊子）について、自由に持ち帰れるように配置した。

ついては、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする人を育むための施策の一環として納税に関する啓発を行うことができた。

（展示内容　作文 10 点、標語 26 点）

（１）担　当：収税対策室

（２）従事者数：木更津税務署　１人
　　市職員　１人

（３）来場者数：約 250 人

Oyen Market Kisarazu・ラボ縁日・ショートムービー上映会「街を食べる」

ココカラおやこカフェについては、子育て世代をターゲットとし日頃の子育ての悩みや、相談、絵本のリユース、子ども服のリユースを展開した。

絵本、子ども服のリユース共に多くの親子連れに参加していただいた。

Oyen Mrket Kisarazu については、多世代間の交流や、団体・企業活動紹介などを展開した。多くの方に、提供をしていただいた、洋服や、食器、健康器具などは、多くの方に提供することができた。また、『街を食べる（ショートムービー)』（イギリス北部の街で行っている、町の好きなところに野菜やハーブを植え、だれでもそれを持っていける取り組み。）を上映することにより、持続可能なまちづくりの啓発活動も行う事ができた。

ラボ縁日については、子育て世代をターゲットとしヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、射的、くじなどを展開した。多くの親子連れに参加をいただき、親子で手を取り合う姿や、いろんなことにチャレンジをしているこどもを見守る親の姿を垣間見る事ができた。

（１）担　当：市民活動支援課（委託事業者：三幸株式会社）

（２）従事者数：勝手に木更津応援団　２人
みなとまちなか friendship　11 人
きさらづみらいラボ　５人

（３）来場者数：約 200 人

第３回「きれいな海のまち木更津コンテスト」作品展示会

コンテストで募集したポスター222 点の展示会を行った。4 階エスカレーター周りを利用した回遊路に、自由観覧として設置した。

ステージイベントとして、ポスター優秀賞の表彰式を行い、表彰式会場脇でポスター展示会を実施したことにより、受賞者及び応募者の方々以外にも多数ポスターを観覧いただけた。

（１）担　当：株式会社ジェイコム千葉　木更津局

（２）従事者数：7 人

（３）来場者数：ポスター展示会観覧者は集計せず

「100%木更津産電力で提供！」メインステージ音響・プロジェクター電源の提供、ソーラーパネル展示＆充電コーナー

事前に自宅と鳥井崎海浜公園にて、太陽光パネル発電のみで蓄えたバッテリー電源を用いて、終日メインステージ電源を賄うことでできた。

また、同じオーガニックアクション宣言企業として登録された企業様より今後の活動についての協力要請など頂いた。

・来年開催のグローカルハピネス電源供給依頼。ナチュラルバルでの今後の関わり（自産自消ｴﾈﾙｷﾞｰ）でのｲﾍﾞﾝﾄ、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟなど。（有限会社ベアーズ様）

・BCP 対策についての提案要請、今後の日東交通様イベントでの関係性（日東交通株式会社様）

・SSH 授業の一環で、再エネ授業を展開、今回体験型ブース出展。当日私所有の太陽光パネルを寄贈するはこびとなった。また、12 月 20 日に開催される校内イベント（太陽光発電を利用したｲﾙﾐ点灯式）に参画する事となりました。（木更津高校様）

・住宅向け太陽光事業への新規参入等されているので意見交換等。（スマートソーラー株式会社様）

（１）担　当：ハナダ電機技術工業

（２）従事者数：１人

（３）来場者数：５人

農業ヒーローズ３～人と農と地域をつむぐ～

パネル展示、農産物の試食、クイズラリー（木更津産５種類のお米の記念品）、各種チラシ配布（農業者年金、中間管理事業等）を行った。

試食については、５品目約 1,000 皿の試食を提供することができた。

約 100 人の方からパネル展示や試食についての感想をいただき、どれも好評であった。

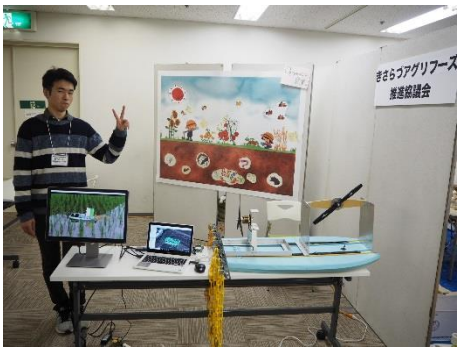
（１）担　当：農業委員会事務局

（２）従事者数：農業委員・農地利用最適化推進員　11 人
　　市職員　５人

（３）来場者数：約 300 人

水稲除草ロボットの展示、オーガニック農業パネル及び無農薬米給食展示

ロボット除草による無農薬米の実験の紹介や無農薬米を使った学校給食でのアンケート結果などの紹介を行った。



（１）担　当：きさらづアグリフーズ推進協議会

（２）従事者数：５人

（３）来場者数：集計せず

千葉県産の杉間伐材を利用した木工ワークショップ

出展の目的としては、収益では無くあくまで「千葉県産木材」及び「かずさ地区木材組合」のＰＲであり、いかに千葉県産木材に興味を持ってもらえるかに重点を置いている。このため、参加組合員の昼食等の経費を差し引くと、イベント出展自体は赤字（想定内）。

昨年は想像以上に反響があり一定の成果が得られたので、反省点を活かしつつ新たなワークショップ等でＰＲを試みたが、予想外に来場者が少なく残念ながら期待したような結果にはならなかった。（来場者数・ワークショップ体験者数・販売売上共に前年を下回った。）

有料ワークショップの内訳

内　容	人数	備考
オリジナルマイ箸作り	６	準備数量 40 セット（今回発出品）
木製積み木作り	８	準備数量 12 セット（前回体験数８）
ミニクリスマスツリー作り	12	準備数量 28 セット（前回体験数 29（完売））
糸鋸盤を使用した手形抜き	２	準備数量 10 個（前回体験数３）
お絵かき木製コースター	１	準備数量 20 個（前回体験数５）

（１）担　当：かずさ地区木材組合

（２）従事者数：７人

（３）来場者数：約 40 人（ワークショップ体験者の保護者等含む）
（前年度約 70 人）
ワークショップ体験者数：のべ 29 名（内組合員２名）
（前年度　のべ３９名）
ワークショップ体験者平均年齢：42 歳（前年度 34 歳）
ワークショップ体験者最高齢：70 歳（前年度 81 歳）
ワークショップ体験者最年少：６歳（前年度３歳）

鎌足桜の魅力

「鎌足桜の魅力」写真と短歌・俳句コンテストの入賞作品の展示と、これらを題材にした 2019 年版鎌足桜カレンダーの頒布を行った。

来場者にパンフレット等を配付し、鎌足桜の広報を行うことができた。カレンダーを頒布することができた。

（１）担　当：鎌足公民館

（２）従事者数：木更津市鎌足桜保存会　７人
　　市職員　１人

（３）来場者数：約 200 人

自然塗料を使って、ヒトと環境にやさしいアートショップ

オーガニックペイントを使用し、木材に塗装、黒板を作るアートショップを行った。

（１）担　当：塗装店　優建装

（２）従事者数：２人

（３）来場者数：約 30 人

木更津高専の紹介～環境に配慮した研究取組の事例紹介～

学生の発案で進めたカラス被害対策のための「Cybernetics Crow」の開発の活動紹介と、12 月８日（土）きさらづみらいラボで開催するみなまちブック・フェス宣伝と活動紹介を兼ねて参加しました。

（１）担　当：木更津工業高等専門学校

（２）従事者数：４人

（３）来場者数：約 20 人

竹とふれあう体験教室

１　「竹と遊ぼう！」（協力：きさらづユースボランティア）

⑴　グループ作り：カテゴライズゲーム

⑵　チームビルディング：竹を使ったパイプライン

きさらづユースボランティアの協力のもと、参加者の子どもたち全員が楽しめるレクリエーションを実施した。参加者同士だけでなく参加者とスタッフも自然に打ち解けることができた。また、竹を使ったレクリエーションを実施することで、参加者に自然体験活動に親しむきっかけとなった。

２　「自転車発電に挑戦！」（協力：木更津工業高等専門学校）

⑴　キッズサイエンス講義（木更津工業高等専門学校　岡本教授）

⑵　発電体験

木更津工業高等専門学校 岡本教授に子ども向けの講義をしていただき、子どもたちは生活における電気の重要性を考えることができた。身近な出来事を中心に説明していただいたおかげで、その後の発電体験では、積極的に取り組む子どもたちの姿を見ることができた。

３　「竹キャンドルホルダーを作ろう！」（協力：アフタースクールボランティアの会）

⑴　竹の切り出し

⑵　キャンドルホルダーのデザインと穴あけ

アフタースクールボランティアの会の指導のもと竹工作教室を実施した。簡単な工作であったが、子どもたちは出来上がりを創造し、自分で考えて取り組むことができた。のこぎりによる竹の切り出し等をアフタースクールボランティアの会の会員が親身に指導をしていいただいたおかげで、安全にそして、親以外の大人と交流をすることができた。

４　木更津市立少年自然の家キャンプ場の紹介パネル展示

キャンプ場施設の紹介をすることで、自然体験活動の拠点としての魅力を発信することができた。

（１）担　当：生涯学習課

（２）従事者数：木更津工業高等専門学校　１人
アフタースクールボランティアの会　４人
きさらづユースボランティア　２人
市職員　４人

（３）来場者数：36 人

盤洲干潟の自然環境保全活動展

盤洲干潟の多様な生物や保全活動の状況をポスター及び写真で紹介した。

また、当会のメンバーが写真やポスターについて解説をしながら、保全活動の大切さを啓発した。

リーフレット「盤洲干潟自然ガイド」を 70 部配布しました。

（１）担　当：環境管理課

（２）従事者数：盤洲干潟をまもる会　６人
　　市職員　１人

（３）来場者数：約 100 人

環境省「うちエコ診断」

一般家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、専用ソフトを用いて、住居地域の気候や対象者のライフスタイルに合わせて無理なくできる省 CO2・省エネ対策をご提案するもの。受診時間は、１世帯 50 分程度。

団体がイベント前に見込んだ参加世帯数は 10 世帯程度であったが、事前申込は７世帯にとどまった。当日、１世帯はキャンセルとなり、実施したのは６世帯であった。

参加団体の意向により飛び込みの診断は受け付けることが出来なかった。受診時間は、１世帯 50 分程度と長く、充分な事前広報が必須であり、客層を選ぶ出展であったと思われる。

（１）担　当：環境管理課

（２）従事者数：EC 千葉　３人
　　市職員　２人

（３）来場者数：８人

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

2020年の東京オリンピック･パラリンピック競技大会の入賞メダルに活用するため、不要になった携帯電話や小型家電を回収。

約 20 kgの小型家電を回収。チラシの配布や公民館等に常設している携帯電話回収ボックスの見本の展示によりプロジェクトの周知をすることができた。

（１）担　当：まち美化推進課

（２）従事者数：４人

（３）来場者数：約 30 人

30･10 運動の啓発

本来まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物、いわゆる食品ロスの削減に向けた取り組みの紹介。

チラシの配布やポスター等の展示により、３０・１０運動及び食品ロスのＰＲをすることができた。

（１）担　当：まち美化推進課

（２）従事者数：４人

（３）来場者数：約 30 人

食・雑貨販売エリア

来場者をもてなすため、また、市内外に木更津の食をＰＲするため、市内で活動する出店者を中心に、地元食材を使用した弁当販売などの飲食店・農産物・雑貨等加工品の販売を行った。

（１）場　所：４階

（２）出店数：18 店舗

No	出店者名	販売内容
1	MY DEAR 株式会社（Smile of Africa）	西アフリカ・トーゴ原産のハーブティー
2	Kurkku fields（耕す木更津農場）	有機野菜や平飼い卵、人参ジュース、ハーブオイル
3	JBK　Farm	無農薬パッションフルーツで作ったジャムやゼリー、ブロッコリー　など
4	木更津市観光ブルーベリー園協議会	無農薬、完熟ブルーベリーで作ったゼリー、ジュース、ジャム　など
5	Olivier odorant（ｵﾘｳﾞｨｴｵﾄﾞﾗﾝ）	１点もののアクセサリー・アップサイクルアクセサリー　など
6	特定非営利活動法人たぬき工房	革製品、ポチ袋、紙皿　など
7	有限会社竹内商店	オーガニックロゴＴシャツ　など
8	木更津逸品研究会	海苔パウダーを使った海苔ラスク、日本ミツバチのハチミツ　など
9	機能性食材研究会	ちしゃとうや青パパイヤなどを使用したお弁当　など
10	地元女子高生プロデュース・地元食材を使ったワンコインランチ	木更津東高校の生徒と四季味宴席「たく」がコラボし、メニュー開発したお弁当
11	ピッツェリアスクデット	国産小麦粉のピッツァ・フォカッチャサンド・自家製手打ちパスタ・リゾピラフ・ランチボックス・焼き菓子　など
12	手作りジャム工房～ippo～	手作りジャム
13	山田庵	マクロビスイーツ
14	morimoe	オルゴナイト　など

15	ひととわ	ドイツパン
16	Bee Concierge	はちみつ
17	ベアーズ	木更津クラフトリキュール
18	合同会社房総山業	イノシシ汁

ボッチャ企業対抗戦＆体験

ボッチャはパラリンピック正式種目でもあり、前回のリオパラリンピックでは日本代表が銀メダルを獲得しています。

今回は、全 12 チームに参加いただき、予選リーグ戦、決勝トーナメントの 19 試合を実施。

参加チームのみなさんは、ほとんどがボッチャ初体験でしたが、試合を重ねるごとに感覚がつかめてきた様子でした。

また、大会にも参加いただいた富津ボッチャクラブのみなさんは、公認審判員の資格をお持ちで、大会の運営に多大なご協力を頂戴しました。

老若男女問わずだれもが参加できるスポーツとして、この地域に広まっていくことを期待しています。

（１）担　当：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

（２）従事者数：10 人

（３）来場者数：参加チーム　12 チーム約 50 人
ボッチャ体験会　約 30 人
大会一般見学者　約 20 人

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会体験コーナー

スポーツの新たな体感を目指し、ＶＲ（仮想空間）を活用したスポーツ（フェンシング）の体験ブースを出展するとともに、東京 2020 大会千葉県開催種目の試合風景などの写真を県や障がい福祉課より借り受け、展示した。

なお、サーフィンのＶＲ体験は機材不調のため実施を見送った。

体験したことのないスポーツを気軽に体験でき、スポーツの苦手な人でも楽しめるイベントとなった。

また、千葉県開催競技種目の写真展示とパンフレットを配布することにより、東京 2020 大会に向けた周知と機運醸成が図れた。

さらに、体験者にアンケートを実施し、東京 2020 大会に向けた認識の調査と、今後、オリ・パライベントを実施する際の参考データを収集することができた。

（１）担　当：企画課オリンピック・パラリンピック推進担当

（２）従事者数：千葉大学生　２人
　　市職員　２人

（３）来場者数：約 50 人

木更津の魅力発信ブース

市の魅力発信や観光ＰＲを目的に作成しているパンフレットやチラシの配布及びプロモーション動画をモニターで放映した。

来場される方のうち、市民の方に対しては市への更なる愛着度向上、市外の方に対しては、木更津への興味・関心を持たせることを目的として実施したが、多数の方がパンフレットを手に取り持ち帰ったり、動画視聴のために足を止める等、一定のプロモーション効果はあったものと思われる。

（１）担　当：情報政策課

（２）従事者数：２人

（３）来場者数：約 100 人

自然×利便性のまち 木更津で暮らそうプロジェクト～空き家バンク・リフォーム助成～

木更津市空家バンク制度・リフォーム助成制度の概要説明、物件紹介、新規物件・利用者登録の相談及び申込受付を行った。チラシ配布は７人、相談は５人であった。

（１）担　当：住宅課

（２）従事者数：４人

（３）来場者数：15 人

都心に一番近い田舎 木更津で暮らそうプロジェクト

移住・定住相談窓口として、３名の相談者へ市内物件パンフレットの配布を行った。

（１）担　当：産業振興課

（２）従事者数：２人

（３）来場者数：３人

木更津市議会の議場見学

開かれた議会の実現を目指し、市民の方々に親しみを感じていただくため、通常は開放していない議場を開放し、議場見学を行った。

小さなお子さんから学生、ご高齢の方まで幅広い年齢層の方々にお越しいただき、昨年を上回る来場者数であった。

熱心に質問される方もおり、議会を知ってもらう良いキッカケであった。

（１）担　当：議会事務局

（２）従事者数：２人

（３）来場者数：72 人

第３　広報・配布物関係

（１）ポスター及びチラシ

ポスター（A2）、チラシ表面（A4）

チラシ裏面（A4）

（２）当日配布パンフレット

サイズ A3　２つ折り（4 ページ折り）

第４　決算書

○収入　　（単位：円）

項目	収入額	手数料	摘要
1．負担金	**2,184,358**		
①負担金			
木更津市負担金	2,184,358		
2．諸収入	**830,080**		
①諸収入			
協賛金	820,000		
駐車場回数券販売	10,080		
合計	**3,014,438**		

○支出　　（単位：円）

項目	支出額	手数料	摘要
1．会場費	**1,320,920**		
①光熱水費			
スパークルシティ木更津	38,312	432	
②備品借用			
机・イス・パネル等	1,282,608	432	
2．開催費	**86,400**		
①司会業務及び放送機材等費			
司会謝礼	86,400	432	
3．広報費	**762,056**		
①デザイン、印刷費			
チラシ65,000部・A2ポスター300部	151,848	432	
チラシ200部（追加）	3,326	216	
パンフレット2,000部	84,240	432	
デザイン等作成費	270,000	432	
②広報費			
新聞折込費	170,629	432	
ジェイコムマガジン折込費・郵送費	78,975	432	
きさポン暑中見舞い返信用はがき購入費	3,038		
4．運営費	**80,180**		
①消耗品費			
グリーン電力証書	16,200	216	
来場者用駐車場回数券	16,000		
スタッフ駐車場利用料	900		
スタッフ用駐車場回数券	42,000	216	
②無料保育			
無料保育謝礼金	4,000		
消耗品	1,080		
5．その他	**26,425**		
①イベント保険			
保険（新種・傷害）	26,425		
6．ステージ・まちづくりイベント出展関連経費	**728,737**		
①企画課			
VRフェンシング機材レンタル料	48,600	432	
②市民活動支援課			
市民活動啓発事業委託費	97,200	432	
③子育て支援課			
展示用備品	88,849	1,080	
④健康推進課			
展示用備品	99,733	864	

6．ステージ・まちづくりイベント出展関連経費（続き）			
⑤障がい福祉課			
ワークショップ材料費・消耗品	31,820		
⑥高齢者福祉課			
講演講師　謝礼	5,000	216	
消耗品	11,015	432	
⑦環境管理課			
診断士謝金・印刷費等	46,704	432	
盤洲干潟展示用備品	10,476	216	
⑧まち美化推進課			
展示用備品	6,082	216	
⑨農業委員会事務局			
試食用米・食材・消耗品	81,368		
⑩生涯学習課			
自転車レンタル料・消耗品	24,379		
⑪中央公民館			
講師謝礼	15,000	432	
珈琲豆・消耗品	34,731	216	
⑫鎌足公民館			
展示用備品	18,917	216	
⑬特定非営利活動法人木更CoN			
ワークショップ材料費一式	50,000	432	
⑭きさらづアグリフーズ推進協議会			
展示用備品	10,018		
⑮国際協力機構JICA　千葉デスク			
展示物返送費	28,110		
⑯オーガニックシティプロジェクト検討会議			
キャラクターグリーティング			
消耗品	4,647		
落書きウォーク			
景品代	12,128		
木更津東高校プロデュース・地元食材を使ったワンコインランチ			
ポスター展示物	3,960		
合計	**3,004,718**	**9,720**	

収入	**3,014,438**	
支出	**3,014,438**	※振込手数料含む
収支差額	**0**	